

平成の御代田町を広報紙で振り返る



町観光協会キャラクター「みよたん」誕生

平成24年

「みよたん」が誕生し、町役場に表敬訪問しました。みよたんは御代田のレタス畑で生まれた「みよたん」は、農家の人に育てられ、近所の畑の中を散歩しているところ、町観光協会のおじさんにスカウトされました。



平成23年

平成21年度より実施していた「御代田中学校建設事業」が完了しました。建替事業は老朽化し、耐震面でも不安のあった学校を、適正規模かつ、近代的な設備が整った、安全・安心な学校を目指して、行われました。



平成22年

パラリンピックの車いすカーリング競技に比田井隆さんが出場しました。比田井さんは当時75歳で日本最高齢出場となりました。



平成15年

平成10年度から建設計画を進めてきた、生涯学習拠点施設「エコールみよた」が完成しました。町では、町民の皆さまが生涯を通して「いつでも」「どこでも」「なんでも」学びたいことが学べる施設にするために、多くの町民の皆さまからご意見をいただき、施設の整備について検討してきました。



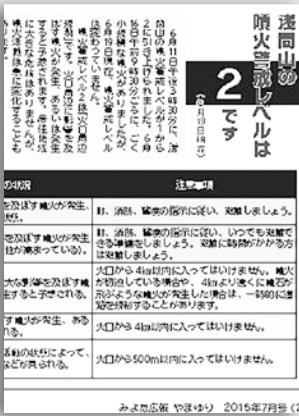
平成14年

12月から、町内のごみの分別が一部変わり、新たに「プラスチック製容器包装」の分別が始まりました。新しい分別方法が始まり、「どの種類のごみに分別したらよいかわからない」といった問い合わせが多く寄せられ、広報紙でも分別収集に伴う質問・疑問に答えする内容を掲載しました。



平成13年

町のシンボルのひとつである真楽寺三重塔・観音堂、仁王門(いずれも町指定文化財)の修理工事が完了しました。三重塔の工事は、屋根を覆う銅版を全てはがし、腐食した材の交換などが行われました。



浅間山ごく小規模な噴火



平成26年

2月14日から15日にかけての大雪は、最大積雪量95センチと、これまでにない記録的な大雪になりました。この大雪により交通網に大混乱を引き起こし、社会生活にも大きな影響を与えました。



平成25年

第1回浅間しゃくなげ公園まつり開催が、大勢の家族連れなどで賑わいました。天候にも恵まれ、地元の食材を使った屋台の出店、特産品などの販売が行われました。



平成18年

郵政民営化の話があり、日本郵政公社信越支社から「郵政事業の集約拠点の再編について」の説明を受け、7月3日付けで、日本郵政公社総裁あてに文書を提出し、無集配郵便局にしないための町の考えを伝えました。



平成17年

12月1日に長野県主催の農村女性フェスティバルが長野市で開催され、農村女性ネットワーク御代田は、男女共同参画推進活動などをテーマに、今後もさらに活動の幅を広げていきたいなどの内容で、最優秀賞を受賞しました。



平成16年

9月1日午後8時2分ごろ、浅間山が噴火しました。気象庁によると、噴火の規模は、中規模の爆発的噴火(中爆発)で、噴火の瞬間、無数の噴石が北西斜面を覆い、まるでマグマが流れ出ているかのような錯覚さえ感じました。



町役場新庁舎開庁



平成29年

旧東原児童館の老朽化および児童クラブで小学校高学年を受け入れるため、やまゆり保育園東側に東原児童館が完成しました。これにより平成29年度から児童クラブで高学年の受け入れが150人まで可能となりました。



平成28年

町合併記念日である9月30日に町制施行60周年記念式典が開催されました。式典にあわせて町表彰条例に基づき、表彰式が行われ、多年にわたり町政にご尽力いただいた方のご功績をたたえ、表彰状などが送られました。



平成21年

町では、国(国土交通省)の補助制度であるまちづくり交付金事業を活用し、平成21年度から25年度までの5か年をかけて「まちづくり交付金事業」として、主に道路整備・防災無線の整備・中学校の建替事業を実施しました。



平成20年

開館してから5年が経過し、9月12日に貸出利用者数が20万人を突破しました。図書館は赤ちゃんからお年寄りまで誰でも利用することができます。今後もぜひ図書館へお越しください。



平成19年

この台風では、停電による被害が大きなものとなりました。中部電力(株)によると最大停電戸数は町内の3,910世帯にもなりました。この停電により、町民の皆さまへ情報提供が十分でず、この教訓から防災行政無線の設置が進んでいきました。

台風第9号により町内に大きな被害